非大 2020.01



ボラリス(北極星)を目指すには 北極星を見分けること。 目指すところ(方向)は一緒でも やり方はそれぞれ多種多様。 一人一人の思いをエッセイの形で 伝えたい。



院長 坂之上 一史

新しい元号のもと新年を迎え、新春のお慶びを申しあげます。昨年9月には2度の大きな台風の襲来、10月には消費税増税などありましたが、令和2年は幸い穏やかに始まりました。

現在の松江地域の医療を支えているのは赤十字病院、市立病院などの急性期病院であることに異論をはさむ人はいないと思います。今世紀に入り医療政策が入院医療から在宅医療へと大きく舵を切られ、急性期病院での平均入院日数は2週間以下となっています。鹿島町や島根町など旧八束郡に所属していた地域の人口ピラミッドでは65才~70才の人口が最も多く、高齢者人口は1/3を超えています。高齢者にとって急性期病院での入院で治療が完結することは稀であり、病病連携、病診連携、病院介護連携など、いわゆる地域包括ケアシステムの円滑な運用なくしてこの地域の医療、介護は成り立ちません。鹿島病院も急性期病院、診療所の先生方、介護保険施設、ケアマネージャーの皆さんとの連携を心掛け、一層緊密な関係を築く努力を日々怠らないようにすることは最優先事項のひとつです。

日本は世界に先駆けて人口減少社会に入っています。鹿島町の人口も平成17年には

8000人を優に超えていましたが平成27年の国勢調査では6700人に減少していました。右肩上がりが当然であった時代には人口が減ることは考えくいことでした。今後も時代の流れ、地域の現状をしっかり把握して鹿島病院の機能を取捨選択して行くことが必要です。

職員の皆さんも変わってゆく社会、地域に向き合って、研修会、研究会などに積極的に参加して自己研鑽に励んで頂きたいと思います。古い言葉ですが職員の皆さんがそれぞれ「一騎当千のつわもの」となって頂ければ幸いです。病院業務を一朝一夕にAIにとって変える事は難しく、病院として職員皆さんのレベルアップにはできるだけの協力、援助を惜しまないつもりです。

令和2年が職員の皆さんにとって、病院にとって良い年でありますことを祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。



明けましておめでと うございます。子年が来る と思っと、家族や友人、患者様 方や職員の方等、支えてくださっ た人達への感謝や、年齢を重ねてし まったことへのショック等色々な思い が浮かびます。抱負は目の前にいる 人をほんの少しでもなざませ、楽し ませていける自分を目指していく こと。 今後とも何卒よろしく お願い申し上げます。

2019

年は多くの変化があ り、あっという間に1年が終 わってしまいました。2020年は4年 に1度の閏年。私は2月29日生まれで、 4年ぶりに歳をとります。そして年女です。 認知症看護認定看護師1年目で、私にとっ ては色々と特別な1年になりそうです。 この 特別な2020年、やはり認知症看護と言え ば喜井!!と言ってもらえるように頑張りま す。日々勉強し、自分の認知症看護を見 つめ直しながら、病院や患者様に還 元できたらと思います。

あけましておめ でとうございマウス。 今年は小学生になる次男 も兄の影響を受けダンスを 始めるので、私も仕事ではも **ちろんですが、プライベート** でも何か目標を持ち、チュー 途半端な年にならない様に 日々精進しマウス。

プライベートでは、 去年キャンプを始めよう と思っていましたが、天候や 予定が合わず1度も行けません でした。今年こそは必ず実行しよ うと思っています。仕事面では、 院内研究大会の大会長として頑張 りたいと思います。皆様の参加 をお待ちしております。今年 もよろしくお願いします。

リハ部 **小林 E**

ん?もうてんな 年齢になってましたっ むけ???。というのが実感です。 今年は仕事とプライベート両 方を充実させ、様々な新しい事に チャレンジして新たな自分を発見 していきたいと思っています。既 に 12 月に旅先で乗馬とパラグ ライダーに挑戦しました。空 を飛べれば後は何でもで きるかなと(笑)。

ルハ部 本庄 哲

今年は看護師3年 目になります。仕事にも 慣れて出来ることも増えまし た。昨年の冬から夜勤もはじまり 責任感を感じることも多くなりまし た。まだまだ分からないこともたく 年女なので良いことがあると信 じてプライベートも充実さ

昨年は公私共に変

化の多い一年でした。仕事 においては、数年ぶりに回復期 へ移動し、業務内容を覚えたりて なす事に一生懸命になってしまいまし た。今年はもう少し周りや先の事を考 えて動けるように努めたいです。後、 抱負というには大袈裟ですが、常日 頃から体力を付けたいと思いながら もなかなか運動が続かないので、

簡単な事でも続く事を見つ けたいと思います。

あけましておめでと うございます。早いもので、 人生で3度目の年男を迎える こととなりました。今年の抱負で すが、私は子供の頃から嫌いなある ことから逃げ続けています。今年こ そは苦手を克服して、美しい歯を手 に入れ、親知らずとお別れしたい と考えています。そのために、 歯医者さんに通います!!

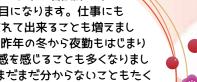
リハ部・山根・広糸

明けましておめでと うございます。鹿島病院に 🤾 入職して 1 年が経ちます。この 1 年は仕事に慣れる事に精一杯でし た。今年は年男です!年男・年女は年 神様のご加護を多く受けることが出来る と考えており、縁起が良いと言われてい ます。今年は年神様からもらったご加

護を鹿島病院全体に振りまき、患者 様に対して、より質の高いリハビ リテーションを提供できる男

になりたいです。

リハ部・吉村・祐人



さんあるので勉強しつつ1つ1つ仕 事を丁寧にこなしていきたいです。

せていきたいです。



地域連携室便り 65

平成31年度 倫理研修委員会研修会について

医療相談部 小林 裕恵

昨年12月5日 鹿島病院で倫理研修会を行いました。内容は①アドバンス・ケア・プランニング(ACP)について②臨床倫理の4分割法について③事例検討です。出席者は32名でした。今回の地域連携室だよりでは研修会講師の喜井亜祐子認知症看護認定看護師から当日の感想をご紹介します。

看護部 認知症看護 認定看護師 喜井 亜祐子

先日行われた臨床倫理研修会では講師と して倫理、アドバンス・ケア・プランニン グについてのお話をしました。

倫理とは、私たちが社会の中で何らかの 行為をするときに、「これは善いことか、正 しいことか」と判断する際の根拠のことを 言い、臨床倫理とはその人にとっての最善 を考えることを言います。私たちは医療者 として、患者様にとっての最善とは何かを 考えながら日々のケアを行っていると思い ます。もう一つのアドバンス・ケア・プラ ンニングとは、自らが希望する医療・ケア を受けるために大切にしていることや望ん でいること、どこで、どのような医療・ケアを望むかを自分自身で前もって考え、周 囲の信頼する人たちと話し合い、共有する





ことです。このアドバンス・ケア・プランニングを行うにあたっても患者様の最善とは何かを考えることが大切です。

今回の研修の後半では事例検討を行っていただきましたが、その人にとっての最善を考えるためには多くの情報が必要で、また患者様を中心にして多職種で情報を共有し話し合うことがとても大切であるということに気づかれたのではないかと思います。

臨床倫理と聞くととても難しい印象がありますが、難しく考えず、まずは日々のケアの中でその人の最善とは何かを考えてみることから始めてみてください。

認定看護師として初めての研修でしたが、 たくさんの方に参加していただき、多くの 意見を聞くことができて私自身とても学び の多い研修会になりました。

研修医地域医療研修を終えて

松江赤十字病院 研修医 廣兼 麻美先生

鹿島病院で1か月間研修させていただき ました。私の中で鹿島病院は転院先の病院

という印象でした。転院の受け入れ依頼があると、紹介状を基に、転院前に患者さんの 今後の治療について検討されていて、病院間での情報提供の重要性を改めて認識しました。紹介される側の欲する情報を知ることができ、今後紹介状を書く際に意識していき たいと思いました。

印象に残っているのが退院前の自宅調査に同行させていただいたことです。元の自宅 に帰ることになっても、今後不自由なく生活が送れるか、実際に自宅で生活する様子を 想定して自室やお風呂などの様子を見て手すりなどの設置を検討していました。患者さ



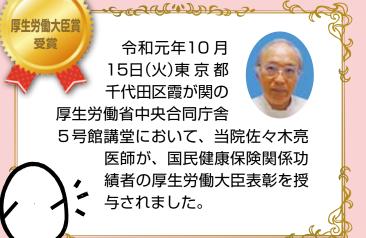
医局と記念写真

んが退院しても患者さんの生活は 続いていくという当たり前のこと に気づかされました。

また、往診にも同行させていただき、自宅で療養されている方の診察について学ばせていただきました。使える道具も少なく、できることも限られている中で患者さんの診察をする難しさがわかりました。大事なのは患者さんの家族

の話をきくことだと先生がおっしゃっておられ、一番患者さんのことをみているのはその家族であり、患者さんだけではなく家族とも信頼関係を気づいていくことの大切さを 学びました。

慢性期で安定している患者さんの呼吸器や投薬の管理など、急性期病院とは違った医療の現場を学ぶことができました。先生方やスタッフの皆さんには大変優しくしていただきました。1か月間お世話になりました。





第27回 日本慢性期医療学会に参加して



リハ部 岩田 知穂

2019年12月3日、4日に 大阪国際会議場で開催された第 27回日本慢性期医療学会に参 加し、「当院回復期リハビリテー ション病棟における多職種協 働による栄養管理のとりくみ」 について発表しました。回復

期リハビリテーション病棟に入院する患者の多くに低栄養が認められ、低栄養はADL向上や自宅復帰を阻害すると報告されています。リハビリテーションにおける栄養管理は重要で、2018年3月に多職種による栄養チームを立ち上げ、栄養管理方法の検討を行っています。今回は、栄養管理方法の変更により2018年は2017年に比べ栄養状態やADLが向上したことと、2018年の栄養状態に影響する因子から今後の課題を報告しました。

発表後は同じような取り組みをしている病院の方から質問を頂き、意見交換を行うことが出来ました。学会では栄養関連のセミナーや発表も多く、会場でも活発な意見交換が行われリハ栄養が注目されていることを感じました。栄養チームに携わるようになってから、様々なリハ栄養の文献を読み、患者さんのアプローチを考える視点が増えました。今回の学会での経験を今後も業務に活かしていきたいと思います。

令和2年永年勤続表彰

勤続25年 金山 利恵 勤続20年 渡部 英子 佐伯 満 勤続15年 山成 幸子 清水 瞳 勤続10年 村上 直美 可知 秀樹 堀 美幸 景山 晋一 山下 結花 池淵 律子 勤続 5 年 直樹 小林 吾郷 竜一 原 亘 原 佳奈子 石橋莉加子 福間 亮 福間 美幸 河良 瑛子 狩野 晋利 田部早紀子 川島友紀子 藤井 誠



たでわか客の合い

~寄り合い事業にて「介護予防教室」を行ってきました~

令和元年11月28日 太曜日

9:30~10:30

公会堂 作業療法士 門脇志保

ケアマネジャー 小松章平・青山善一・福井達彦



地域貢献活動、鹿島病院在宅部門の啓発の一環として、地域へ出かけ健康教室を実施してきました。昨年から引き続き 呼んでいただきました上講武地域の皆様と、冬の健康についてお話、認知症予防のレクリエーションを行いました。

上講武

心も体もイキイキ健康教室

はじめに

参加者

寒い季節がやってきました!年末に向けて、お忙しくご活躍されていることと思います。暖かい季節 と比べ、寒い季節は健康を損なう危険がたくさんあります。どんな季節でも健康を保ち、元気に過ごし ていただきたいです。

寒い~、体が縮こまるわ~、外に出たくない~、何もやりたくない~と、どうしてもネガティブ気分 になりやすくなりますね。暖かいこたつの中で少し体と脳の準備体操をして、「さあっ!」と動きまし ょう。

冬の入浴は要注意!

ヒートショックという言葉をご存じですか。入浴時の突然死のほとん どは 60 歳以上です。ヒートショックの要因は、温度差による血圧の急 激な変化が問題となります。脱衣所の室温が低下している中で衣服の着 脱をすることで寒さにより末梢動脈が収縮し、急激に血圧が上昇するこ ととなります。ヒートショックはトイレなどでも生じます。

また浴室は転倒しやすい場所でもあります。すべり止めマット、手す りの設置があると安心です。

【対応策】浴室・脱衣所を暖める、湯の温度 41 度 10 分以内の入浴、 ゆっくりと立ち上がる。

冬の転倒に注意!

縮こまった体で、足腰の動きはいつもより鈍くなっています。例え ばこたつ布団に引っかかったり、厚めのカーペットに躓いたり、今ま でなんてことがなかったものが障害物となります。その他電気カーペ ットやヒーターのコード、冬になって登場する足元の電化製品。滑り やすくなった道路も要注意です。

【対応策】こたつをやめてしまう、部屋全体を暖めヒートショック予 防も、歩くところにコードを出さない。



冬の脱水に注意!

冬だから汗かかないし、水分取らなくてもいい、なんてことはありません。1日2リットルの水分摂 取が必要です。寒いからトイレに立ちたくない、気持ちはわかりますが、トイレに行きましょう。暖房 や電気毛布で体を温めているので、夏と同様に体から水分は出て行っています。

【対応策】おトイレが気になる方は、体に吸収しやすいミネラル分の入った水分を摂取しましょう。

冬の感染症に注意!

ご高齢者はインフルエンザやノロウイルスに感染すると重篤化しやすい ので、しっかりと予防をすることが重要になります。

【対応策】手洗いうがい、マスクの着用、部屋の加湿、体を冷やさないこ



冬のお餅に注意!

「誤嚥等の不慮の窒息」による事故は、ご高齢者の「不慮の事故」の中で最も死 亡者数が多く、このうち約半数を「気道閉塞を生じた食品の誤嚥」が占めています。 特にお正月(年始)は餅による窒息事故が多発します。

【対応策】お餅を小さく切ってから食べる、食べる前にのどを潤す、よく噛んで食 べる、日ごろから嚥下体操を!



冬の皮膚乾燥に注意!

加齢とともに皮脂分泌が少なくなり、皮膚の防御機能が低下するため、さまざ まな皮膚トラブルを起こしやすくなります。外気が乾燥する冬に多くみられるの は、「老人性乾皮症(かんぴしょう)」や「皮膚掻痒症(ひふそうようしょう)」な どです。これらの皮膚疾患は、非常に辛いかゆみを伴います。イライラは健康に 悪影響です。

【対応策】ぬるめのお湯につかる、ゴシゴシしすぎない、入浴後の保湿剤塗布。



冬の不活発に注意!

春夏秋と比べると、活動の範囲がどうしても狭くなり、体を動かす量が減 り体力が低下してしまいます。ご友人と会う機会も減り、会話の量も減って くると、脳への影響も懸念されます。冬の間に体力低下を起こし、さあ春に は動くぞ、と思ってもそうは思うように行かず、年々衰えているな…と感じ られることはありませんか。



さあ一緒に体と頭と心を動かしましょう!



複数課題を同時に行う体操です。トライしてみましょう!



~「冬場の寒い時期を元気で健康にすごす」をテーマに講習会を開催しました~

リハビリテーション部 理学療法士 藤原 法文

令和元年11月14日、鹿島町北講武柏集落センター にて柏自治会の高齢者とボランティアスタッフを対象に 「冬場の寒い時期を元気で健康にすごす」をテーマに講 習会を開催しました。地域から11名が参加され、日常 生活の注意点・体力測定・健康体操を行いました。お元 気な高齢者が多く、熱心に聞き入りながら、体操なども



積極的に参

加されていました。

柏地区では月1回程度様々な活動をしておら れ、吹き矢やカローリングなどを行っておられ るとのことです。要介護状態の予防のために地 域単位での活動がとても大切になります。この ような依頼があれば定期的に出向いていきたい と思います。

公仁会事業報告 (R1年10月~R1年12月)

患者重症度指数 強化項目 リハビリ数

鹿島病院 ①外来

診療日数64日		1 日平均患者数
延べ外来患者数	1,232人	19.2人/日

②病棟 2F特殊疾患病棟

診療日数92日		1 日平均患者数	
延べ入院患者数		5,327人	57.9人/日
レスピレー:	ター装着延べ患者数	1,831人	19.9人/日
特殊疾患	①脊髄損傷等の 重度障害	583人	6.3人/日
対象延べ 患者者数	②重度意識障害	2,739人	29.7人/日
N H H M	③神経難病	1,249人	13.5人/日

3か月間の特殊疾患対象 患者割合 84.2%

3F回復期リハ病棟

診療日数92日		1 日平均患者数	
延べ入院患者数	4,722人	51.3人/日	
回復期リハ病棟対象患者割合	98.0%		
平均リハ提供単位数	5.8		

直近6か月間の 新規入院患者	重症者の割合	39.3%	
直近6か月間 した患者の割		89.9%	
直近6か月間の重症改善率 (4点以上改善)		69.8%	
直近6か月間 実績指数	のアウトカム	45.4点	

4F療養病棟

診療日数92日		1 日平均患者数
延べ入院患者数	2,605人	28.3人/日
直近3か月間の医療区分 2・3の患者割合	93.0%	
直近6か月間の在宅に退院 した患者の割合(4F全体)	78.5%	

/IF地域匀括ケア病床

診療日数92日		1日平均患者数
延べ入院患者数	2,465人	26.7人/日
A·C項目患者の割合	20.	6%
平均リハ提供単位数	2	.4
直近6か月間の在宅に退院 した患者の割合	79.5%	
ショートステイ延利用者数	21人	0.2人/日

在宅サービス部

①通所リハビリ"やまゆり"

稼動日数77日		1日平均利用者数
通所リハビリ延利用	者数 2,3	355人 30.6人/日
短期集中リハビリ実	施数 25	50単位 3.2単位/日

②訪問リハビリ"つばさ"

稼動日数61日		1日平均利用者数
訪問リハビリ延べ利用者数	241人	4.0人/日
訪問リハビリ延べ単位数	541単位	8.9単位/日

③訪問看護"いつくしみ"

稼動日数61日		1日平均利用者数
訪問看護延利用者数(医療)	293人	4.8人/日
訪問看護延利用者数 (介護·看護)	573人	9.4人/日
訪問看護延利用者数 (医療,介護・リハビリ)	247人	4.0人/日

④鹿島病院やまゆり居宅介護支援事業所

稼動日数61日	月平均策定数	
延ベケアプラン策定数	419人	140人/月
延べ介護予防ケアプラン数	153人	51人/月



人事のお知らせ

NEWS

①部署 ②趣味・特技は何ですか?

③好きなもの・好きなことを教えてください。

-言ご挨拶をお願いします。

入職 50音順



内久保 敦実

- ①栄養課

- ① 大撲球② 登山・よさこい③ 食べること・体を動かすこと④ 一日でも早く仕事を覚えてみなさんのお役にたてるようにがんばり たいです。これからよろしくお願 いします。



奥板 亜希

- ()事務部医事課 (2)ウォーキング・柔道 マンガ喫茶巡り (3)マンガを読むこと・ゲーム (4) 1月から医事課に勤務になりまし
- た奥板と申します。未経験での入 社なのでご迷惑をおかけすること も多いかと思いますが、1日でも 早く覚えられるようにがんばりま す!よろしくおねがいします!



杉谷 亘

- ①看護部2階病棟 ②映画鑑賞・海外ドラマ鑑賞 料理得意です。
- 3最近はベトナム料理、タイ料理に ハマっています。
- ④急性期病院から来ました。急性期・ 回復期を経た次のステージでどの 急性期時院から来ました。急性期・ 回復期を経た次のステージでどの ような看護や技術が行われている か学びたいと思っています。また、 呼吸療法認定士として、知識や技 術の向上も図っていきたいと考え アントます。となった際にはませ ています。よろしくお願いします。



中島 千晶

- ①看護部2階病棟
- ○看護部と陪納保②読書・ショッピング③子供と一緒に過ごすこと④久しぶりの看護の現場で、忘れていることもあり、ご迷惑をかけるとは思いますが、一日でも早く慣れるよう頑張りたいです。よろしてお祭り、ます くお願いします



温盛 朱里

- ①看護部4階病棟
- ②読書 ③旅行・カフェめぐり
- ④病棟勤務は数年ぶりのため慣れる までご迷惑をおかけしますが頑張 りますのでよろしくお願いしま



美樹江 広江

- ①看護部4階病棟
- ②あみもの・植物を育てる・読書 写真をみる撮る
- ③1人の時間を充実してすごすこと ① 「人の時間を元美しとりとりという。④ 2年前に3階病棟に7年間勤務していました。2年間外で働いてみましたが、やっぱり鹿島のみなさんと楽しく・真剣に患者様のために働 まり、「実別に返す後のためにもご きたいと思いまたお世話になるこ とにしました。経験を活かしなが ら、初心にもどりがんばりたいと思 います。よろしくお願いします。



本田 由紀子

- ①看護部2階病棟 ②ドライブ・雑貨屋めぐり ③愛犬・愛猫との散歩 一緒にゴロゴロすること
- 一柄にコリコロョること ④介護の経験はありますが、看護の 経験はなく、皆様にご迷惑をお掛けしますが、少しでも力になれる 様、頑張ります。どうぞ、よろし くお願い致します。



前島 理恵

- ②趣味は音楽を聞くことです。たまにライブにも行きます。 ③甘いものを食べるのが好きです。
- ③目いものを良へるのか好きです。特にチーズケーキがあると必ず手を出します!④慣れないことが多く、迷惑をかけると思いますが、精一杯がんばりますのでよろしくお願いします。



三輪 奏葉

- ①看護部4階病棟 ②裁縫 ③冬は家にこもっています。 俳優の大泉洋さんが好きです。 ④早く業務を覚え、戦力になれるように頑張りたいと思います。県外 出身で、山陰のこともまだまだ知 らないことが多いので、仕事のことに合わせ、山陰の魅力なども数 ラブになけると棒しいです。 えていただけると嬉しいです。よ ろしくお願い致します。



森脇 由貴

- ①訪問看護②パン作り③パン屋巡りをしながら美味しいパンの研究をすること
- ④訪問看護は初めてですが、新しい 気持ちで一つ一つ身に付けていき たいと思います。よろしくお願い 致します。



安野 由美

- ①看護部4階病棟 ②ガーデニング・DIY ③子供達のスポーツ観戦に行く事 ④仕事を覚えるまで、ご迷惑をおか けすると思いますが、早く仕事を 覚え、職員、患者様に信頼して原 はストラ流経のトます。を始また しくお願い致します。



- けるよう頑張ります。ご指導を宜

74	15-CXX		
	職種		職員数(名)
医		師	7人
薬	剤	師	2人
Ρ		Τ	23人
0		Т	19人
ഗ		Т	6人
看	護師(准看護的	币)	92人
쎮	床検査技	師	2人
診	療放射線技	師	1人
М	S	W	6人
介	護支援専門	員	6人
介	護福祉士(介護職	員)	59人
歯	科 衛 生	\pm	2人
管	理栄養士(栄養:	士)	3人
調	理	員	11人
事	務 職	員	19人
	合 計		258人

2.1.1現在

昇進

副院長 兼 リハビリテーション部長 田野 俊平(リハビリテーション部長) 副院長 兼 診療部長 戸田 博敏(診療部長)



看護部看護師 温盛 朱里/看護部看護師 三輪 奏葉/診療部栄養課調理員 内久保敦実 豆/看護部介護福祉士 安野 由美/事務部医事課事務職員 看護部看護師 杉谷 奥板 亜希 看護部看護師 広江美樹江/看護部介護福祉士 本田由紀子/診療部栄養課管理栄養士 前鳥 理恵 千晶/在宅サービス部訪問看護看護師 森脇 由貴 看護部看護師 中島



東 耕一郎(診療部)/小林

徹(看護部)/田中 芳子(看護部)/奥村 孝子(看護部)



D

医療法人財団公仁会中期ビジョン2019

医療・介護が一体となり、リハビリテーションを柱としたサービスを展開し、急性期病院をはじめとする医療機関・介護事業所・行政機関との連携を軸に、橋北地区の 地域包括システムを支える。

<ビジョン策定の主旨>

高齢化に伴う疾病の多様化・重度化さらにリハビリテーションの要求に応え、橋北地域における地域包括ケアシステムの中核病院として入院医療と在宅医療を継続的に提供するため、中期ビジョン2019を策定する。

<本計画の期間>

この計画は2019年4月から2022年3月までの3 年間を期間とする。

1. 良質な回復期・慢性期医療

(1)回復期医療

回復期リハ病床を中心としたリハビリテーションの更なる充実に加え、地域包括ケア病床での短期リハビリテーションを組み合わせることにより地域の回復期医療を担う。

(2)慢性期医療

特殊疾患、医療療養病床で難病、医療依存度の 高い患者への対応を行い、地域包括ケア病床で入 院加療を必要とする高齢患者に準急性期医療を提 供することにより地域の慢性期医療を担う。

(3)質の高いリハビリテーション

回復期リハ・地域包括ケア病床でのリハビリテーションを外来・通所・訪問のリハビリテーションに繋げていくことで、地域におけるリハビリテーションを総合的に行う。

(4)外来・訪問診療

入院診療を支えるため、外来のみならず訪問診療を訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、 通所リハビリとの連携で充実させる。

2. 在宅生活を支える医療・介護

(1)良質な在宅医療

患者にとって「安心な支える在宅医療」を促進するため、外来・訪問診療と訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所との連携を一層進める。

(2)良質な在宅支援サービス

外来部門、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所ならびに通所リハ、外来リハ、訪問リハが質・量ともに向上し、リハビリテーションを柱とした質の高い医療・看護を提供する。

3. 地域連携 及び 地域貢献

(1)病病連携、病診連携、地域(行政(県・市・保健・ 福祉・介護)、地区)連携

急性期病院や地域の診療所と継続的・定期的に 意見交換会を実施するなど顔の見える連携の更な る強化を行う。また、行政との連携を深め、周辺 地区事業にも積極的に関わる。

(2)予防医療や介護技術を地域へ普及

地域住民への啓発活動や医療・介護関連職種に対しての勉強会等を通じて、地域に積極的に知識を還元していく。

(3)地域への情報発信

病院の機能や在宅サービス機能、治療成績、行事等についてホームページや広報誌等を活用して、積極的に情報発信を行い公仁会のブランド力を高める。

4. 医療安全・院内感染対策

(1)医療安全

医療・介護サービスを提供する全ての方へ医療 安全を担保することは前提条件であり、日常から 緊張感をもって業務改善に努める。

(2)院内感染対策

院内感染が起こってからの対策のみならず「発生しないための対策」「予防策をいかに取るべきか」 院内感染防止対策委員会の活動だけでなく日頃からの予防教育を継続する。

5. 医療サービスの質の改善

(1)機能評価の評価に基づく継続的改善活動

日本医療機能評価機構の実施する病院機能評価 3rdGV2.0への参加が決定し2020年 1 月に更新 受審する予定である。日頃の診療行為等の見直し を図り、医療サービスの質の向上に努める。

(2) 臨床指標 (Clinical Indicator) の活用

診療報酬体系がストラクチャー評価からアウトカム評価重視へ移行する過渡期の中で、当院のアウトカムである在宅患者受入れ率や在宅復帰率、リハ効率、医療区分割合、医療看護必要度、訪問診療回数などを院内外に積極的に発信していく。

(3)患者満足度向上の組織的取組み

継続的なアンケート調査を行い患者ニーズの把握 に各部署務め、満足度向上のため継続的に努力する。

(4)施設・設備・環境の整備と充実

患者のQOLに資すること、並びに職員の働きやすい環境の整備を計画的に進める。

6. 人材の確保と育成

(1)人材の確保

良質な医療・介護をより向上させる為、必要人 材を適時適切に確保する。

(特に医師は現在の構成を顧みれば確保は急務である。また、薬剤師、看護職員、介護職員においても各々の自己研鑽だけでなく新たな人材の受入が必要である。)

(2)人材の育成

研修会、研究会への参加は今後も計画的・継続性をもって行い、各人の一層のレベルアップを行う。

(3)働き方改革への対応

「働き方改革を推進するための関係法律の整備に 関する法律」に沿った労働環境を整備し、働きや すい環境作り、離職防止の取組、キャリアアップ サポート、福利厚生事業の充実など、魅力ある職 場づくりを行う。

(4)学生の受入れ

学生実習の積極的受入れを行い職員のレベル アップを促すとともに、採用機会を増やすような 取組みを引き続き行う。

7. 新電子カルテシステムの検討

CIMA/LinkCare、医事システム Hope のハード更新を 2022 年に控え、今後の電子カルテシステムはどうあるべきか検討委員会を立上げて検討する。



2019/11/12®



令和元年11月12日、4階病棟ホールにて、琴 修会松江支部(生馬公民館にて活動)の5名の皆

様による大正琴ボランティアコンサートを開催していただきました。演奏していただい た曲は、「瀬戸の花嫁」などの歌謡曲や「里の秋」などの童謡など、だれもが口ずさむ ことのできる歌で、コンサートに参加された患者様の多くが手拍子を取りながら一緒に 歌って会を楽しむことが出来ました。30分という短い時間でしたが、大正琴の澄んだ音 色が病棟に響き、入院中の患者様にはひと時の心温まる時間を過ごしていただくことが 出来たと思います。琴修会の皆様、ありがとうございました。



2019/12/11

令和元年12月11日、毎年恒例行事 となりました院内餅つき大会を今年も 開催いたしました。今年は長年お世話

になった杵を新調してもらい、ややコンパクトな持ちやすい杵での餅つきとなりました。 「よいしょ!よいしょ!」の掛け声と、「ぺたん!」とお餅をつく音は、今年も鹿島病院 に年の瀬がやってきたなという気持ちになります。やはり人生ベテランの患者様の一振 りは、音が違うなあと毎年感心させられます。餅つきにさそうと多くの患者様が恥ずか しがられますが、いざ杵を持つと皆様表情を変え真剣に杵を振り下ろされます。今年の お餅はすこ一し固く、なかなかちぎって丸める事に苦戦する様子がありましたが、皆様 粉まみれになって取り組んでおられました。

広報委員会

入院中の患者様にとって、少しでも古き良き日本の季節 行事の雰囲気を味わっていただく時間が持てたら幸いで す。残念ながらついたお餅は食べることはできませんが、

いよいよ2020年です。年末年始は 連休だった方もいらっしゃれば、お仕事

だった方もいらっしゃると思います。皆様お仕事や家族サービス等等お 疲れさまでした。さて、今年は国民的大スター「嵐」が12/31をもって 活動休止となることと、「東京オリンピック」が開催されます。オリンピッ ク期間中の宿泊代の大幅な高騰から、交通機関の混雑も例を見ない状 況という予測が出ています。実際に観戦に行かれる方は入念な計画と準 備をされることをお勧めします。新春号ということですので、今年の一 字を先行予測してみようと思います。私の予想は、「輪」の一文字です。 理由はオリンピックからくる「五輪」という部分と、オリンピックで世界各 国からたくさんの方がいらっしゃることもあり「人の輪」や繋がりを感じる 瞬間が、競技以外の場面で私たちの生活の中でも必ずあると思っており

選びました。きっと12月頃には予想したことすら忘れて いるかも知れませんが、今年も人との繋がり =strand (ストランド) を大切にしながら、日々精進します。皆様 のご健康とご多幸をお祈りいたします。

お餅には神様からの生命力が宿 るといわれ縁起物とされていま す。お餅つきの音につられて、 鹿島病院にも良い年がやってき ますように。

■編集・発行・責任者:広報委員会委員長

医療法人財団公仁会 〒690-0803 島根県松江市鹿島町名分243-1 e-mail ksm@kashima-hosp.or.jp http://www.kashima-hosp.or.jp/ TEL(0852)82-2627代 FAX(0852)82-9221 訪問看護ステーション(いつくしみ) TEL · FAX(0852)82-2640 やまゆり居宅介護支援事業所 TEL · FAX(0852)82-2645 通所リハビリテーション(やまゆり) TEL · FAX(0852)82-2637 鹿島病院デイサービスセンター

TEL(0852)82-2665代 FAX(0852)82-9221

■印刷元 柏村印刷株式会社